

# 資料1 富良野市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する改正指針（案）

この改正指針(案)は、今後の社会情勢の変化や教育制度の改正などに合わせて必要に応じ、随時、見直しを行うこととしており、少子高齢化やSociety5.0の実現に向けた社会変化、「令和の日本型学校教育」構築に向けた学びへの教育環境の実現を目指し、見直しを行ってまいります。

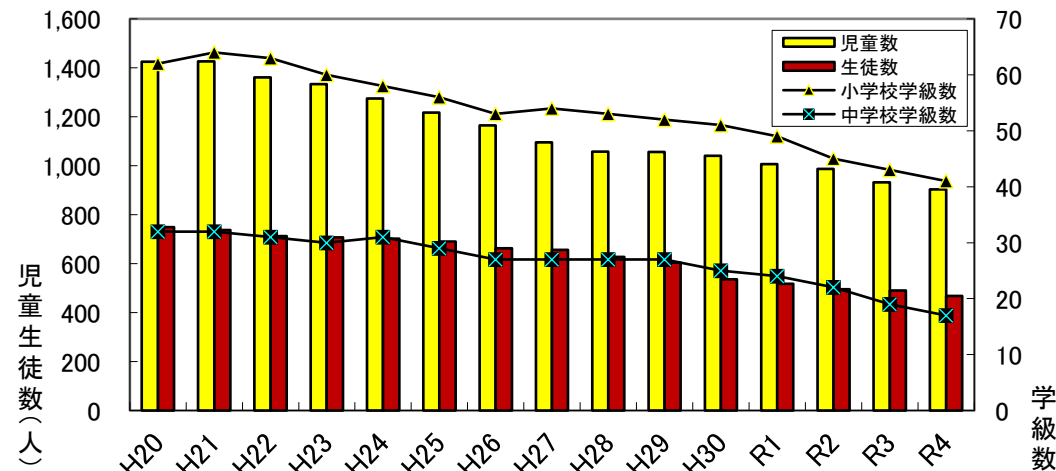
【小中学校数・児童生徒数・学級数の推移】

年度	小学校			中学校			義務教育学校			小中合計		
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (学級)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (学級)	学校数 (校)	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	学校数 (校)	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)
29	9	1,057	52	6	604	27				15	1,661	79
30	9	1,041	51	6	536	25				15	1,577	76
R1	9	1,007	49	6	518	24				15	1,525	73
2	9	987	45	5	496	22				14	1,483	67
3	9	932	43	5	490	19				14	1,422	62
4	8	880	38	4	458	15	1	33	5	13	1,371	58

【住民基本台帳による児童生徒数の推移】 ※令和4年5月1日の住民基本台帳を基に算出

小学校名	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学
富良野小学校	366	51	333	41	325	49	303	54	292	47	282	40	277	46
扇山小学校	232	31	229	38	219	33	225	44	208	31	210	33	213	34
東小学校	196	31	180	27	176	28	161	23	162	30	163	33	161	29
麓郷小学校	21	1	19	1	17	3	13	0	13	3	9	1	10	2
布部小学校	3	0	2	1	2	1	2	0	3	1	3	0	4	1
鳥沼小学校	20	2	18	1	13	2	14	3	15	4	13	1	13	2
布礼別小学校	9	0												
山部小学校	37	7	33	3	39	13	43	8	36	4	45	10	46	8
計	884	123	814	112	791	129	761	132	729	120	725	118	724	122

【小中学校の児童生徒数と学級数の推移】



中学校名	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学
富良野東中学校	220	65	234	87	234	82	247	78	240	80	224	66	210	64
富良野西中学校	222	70	223	81	215	64	225	80	213	69	200	51	178	58
麓郷中学校	11	7	6	3	8	5	7	4	9	3	11	5	13	1
布部中学校	5	2	4	2	4	1	3	0	1	0	0	0	0	0
計	458	144	467	173	461	152	482	162	463	152	435	122	401	123

義務教育学校名	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学	総数	入学
樹海学校(前期)	23	3	22	3	17	0	15	0	13	3	12	3	11	2
樹海学校(後期)	10	2	11	4	11	5	11	2	12	5	11	4	12	3
計	33	5	33	7	28	5	26	2	25	8	23	7	23	5
小中合計	1,375	272	1,314	292	1,280	286	1,269	296	1,217	280	1,183	247	1,148	250

# 富良野市立小中学校の適正配置の考え方

## 1) 子どもたちの教育環境を考えて

児童生徒数の減少に伴い、教員数も減少し、学級及び学校規模が小さくなります。そのため、メリットである一人一人への丁寧な指導より、子どもたちの各種教育活動が制限され、同世代の子どもたちとの交流によって期待できる社会性を育むことが困難となるなどデメリットの方が勝ることが考えられます。

予測困難で変化の激しい時代を生きるための資質を育むために、一定規模の学校での学びを実現に向け、今後の教職員数の推移を踏まえ関係者による協議を行います

また、適正配置に当たっては、児童生徒の通学条件、通学への負担も考慮していきます。

## 2) 小中学校の適正配置の進め方

小中学校の適正配置【第2期】については、平成30年度から令和9年度のうち、令和5年度から令和9年度までの5年間で第2期（後期）として次のような指針（案）を定め、保護者・地域及び関係者と協議を進めていきます。

## 3) 小中学校の適正配置の指針(案)

通学条件による適正配置及び学校が地域コミュニティの核となり地域とともにある学校づくりの視点から、小中学校の配置の指針は右の表のとおりとします。

なお、この配置の指針は固定的なものではなく、常に見直しを図りながら、保護者・地域との共通認識・理解のもと慎重に進めることとします。

地域	学校名	適正配置の指針
富良野市街地区と周辺	富良野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地3校は、現状での配置とするが、新たな住居区域の拡大により、学校間の児童数に差がみられるため、通学区域の見直しを検討する。</li> </ul>
	扇山小学校	
	東小学校	
	富良野東中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状により運営する。</li> </ul>
	富良野西中学校	
	鳥沼小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数が減少するため、隣接する児童養護施設の動向を見極めながら、適正配置を検討する。</li> </ul>
布部小中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数の減少及び区域外通学の状況などから地域・保護者の要望を踏まえ、令和5年度をもって廃止及び通学区域の市街地の学校への変更を行う。</li> </ul>	
東部	麓郷小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの効果的な活用により、市内小中学校等との交流を推進する。</li> <li>義務教育学校を検討する。</li> </ul>
	麓郷中学校	
山部	山部小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状により運営する。</li> <li>ICTの効果的な活用により、市内小学校等との交流を推進する</li> </ul>
東山	樹海学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育学校として運営する。</li> <li>保育所との連携強化に向け、東山へき地保育所の在り方を検討する。</li> </ul>

## 近年の小中学校統廃合等の状況

- 平成25年4月 麓郷中学校 麓郷小学校校舎を活用し併置化へ
- 平成26年3月 布礼別中学校閉校 富良野東中学校と統合
- 令和2年3月 山部中学校閉校 富良野西中学校と統合
- 令和4年3月 樹海小学校・樹海中学校閉校  
樹海小学校校舎を活用し、小中一貫義務教育学校「樹海学校」へ
- 令和5年3月 布礼別小学校閉校 東小学校と統合
- 令和6年3月 布部小中学校閉校予定  
居住地により、富良野小学校、扇山小学校、富良野西中学校、富良野東中学校へ通学